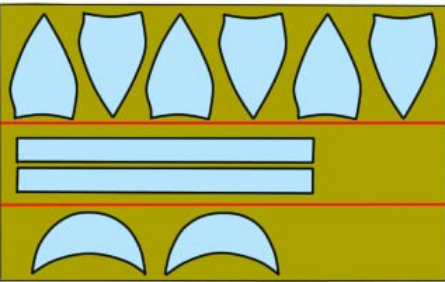

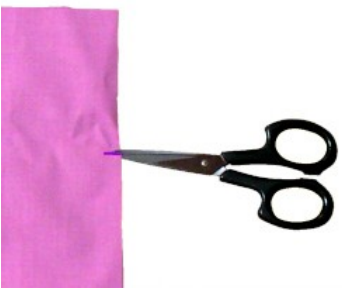
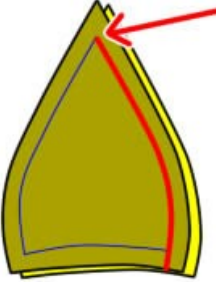
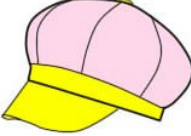
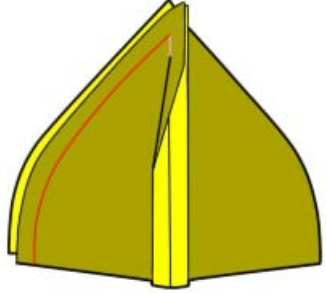
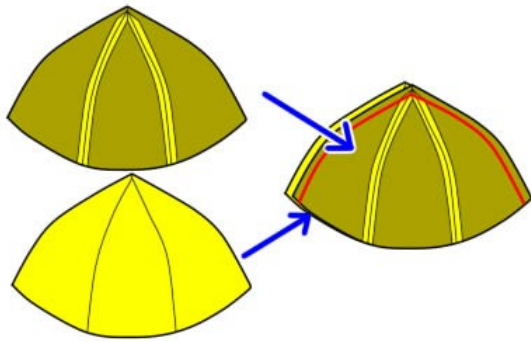
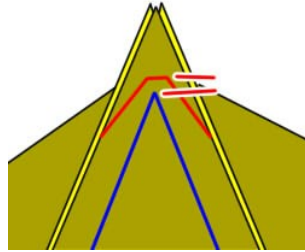
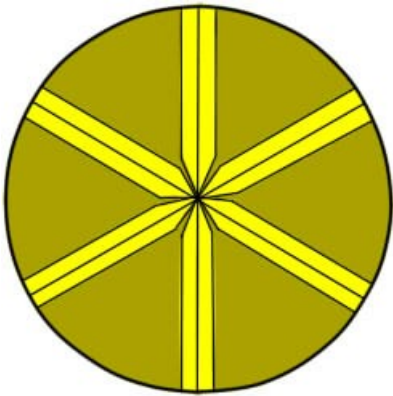
 <p>① 額生え際から 1.5~2cm下</p> <p>② 耳の付け根の すぐ上を通るように</p> <p>③ うなじ生え際から 3~4cm上</p>	<p>1~3のポイントを通るように赤い部分を測ってください。</p> <p>その計った長さに+1cmした長さが貴方に適した帽子のサイズです。</p> <p>そのサイズの物を作ってください</p>
	<p>布の上に型紙を置いて大まかな配置を決めてください。 ベルトに接着芯を貼ってください。</p>  <p>こんな感じに型紙より大きめに布を切り、接着芯も型紙より少し大きめに貼ってから線を引いて切ると綺麗に切れます。</p>
	<p>■表 ■裏 ■接着芯</p> <p>生地 of 縫い合わせの印を必ずつけて下さい。</p> <p>くわしくは縫う前の下準備を参照してください。</p>
 <p>出来上がり線の角まで縫う</p>	 <p>型紙にクラウンと書かれたパーツを縫ってください。</p> <p>内側が表になるように重ね片側だけ縫ってください。</p>
	<p>縫い合わせた2枚を広げて下さい。 縫い代をアイロンで左右に折って下さい。 3枚目も内側が表になるように重ねて下さい。 天辺の角で最初の縫い代を縫いこまないようよけてから、縫ってください。</p>



3枚を2つ縫って下さい。



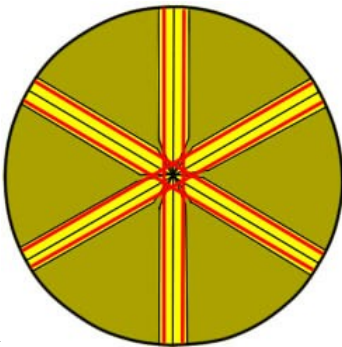
頂点の縫い代の角を切り落としてください。
縫い目のギリギリを切るとほつれるので縫い目から1～2mmほど離れたところを切って下さい。
3枚同士を表が内側になるように重ねて縫って下さい



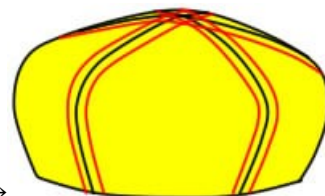
アイロンで縫い代を左右に折って下さい。



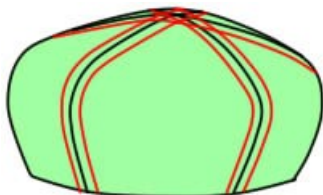
カーブの所が引きつったりしないように縫い代に切り込みを入れてください。



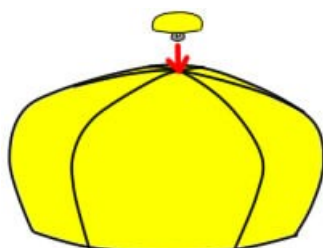
裏→



表→
アイロンをかけられない生地、折り目がつきにくい生地は、縫い代を広げた状態で表と縫い代を縫って固定して下さい。



裏地も同じように縫って下さい。

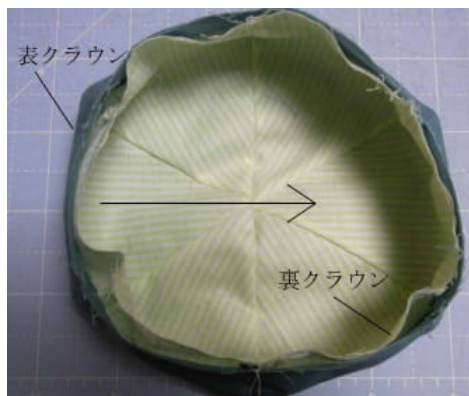
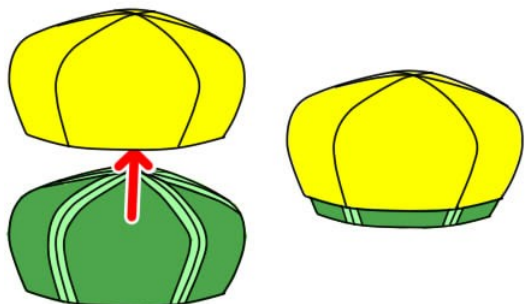


頂点に手縫いで包みボタンをつけてください。

包みボタンについてはメーカーによって包みボタンの作り方は違うので、パッケージを参照して下さい。



頂点の包みボタンは、縫いズレを隠すものですので、縫いずれなく綺麗に頂点の縫い目が交わった場合はつけなくても良いです。

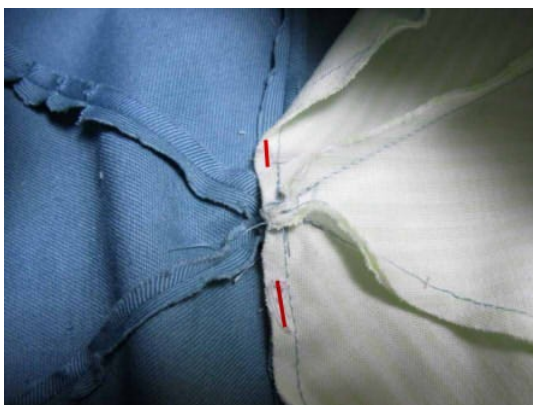


表の帽子に裏地を裏同士が内側になるように入れてください。



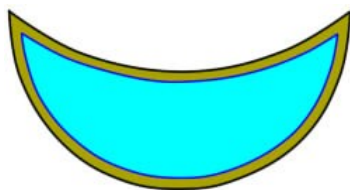
裏地を片側に寄せてください。

表地と裏地の縫い代をあわせてください。

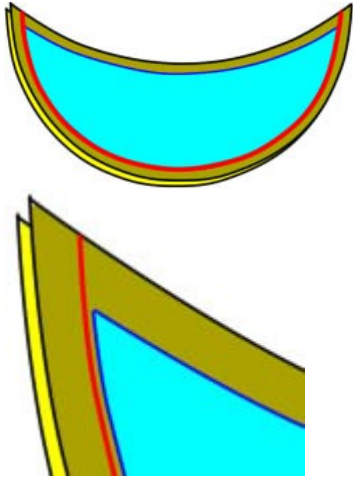
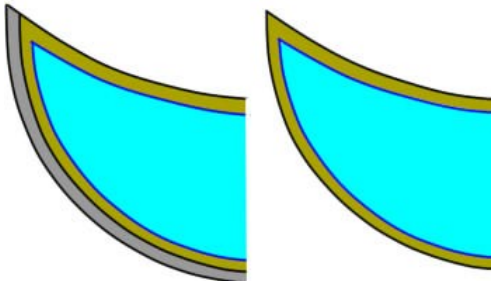
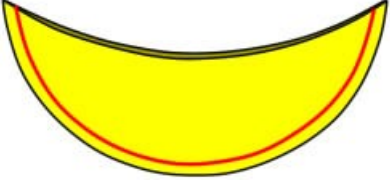
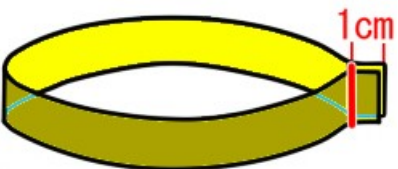

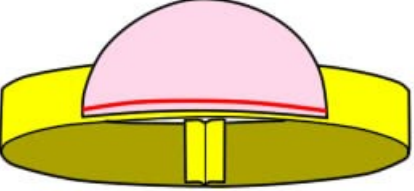
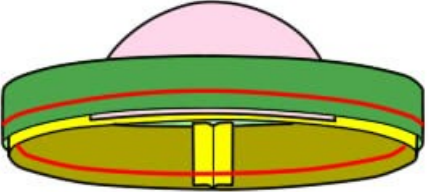


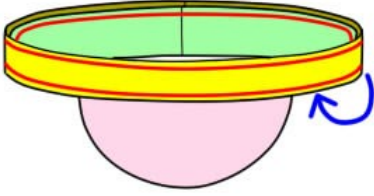
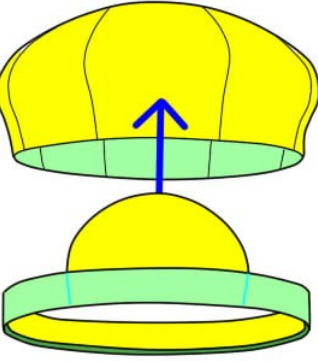

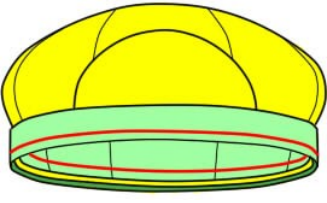
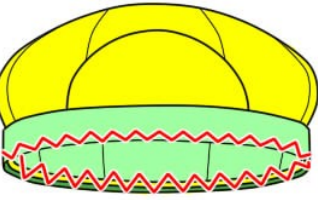
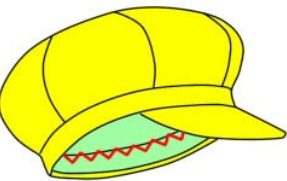
裏地と表地がずれないように縫い代だけを縫ってください。

手縫いでもミシンでもどちらでも良いです。



つばのパーツの裏に接着芯を出来上がり線の内側に貼ってください。

	<p>内側同士が表になるように重ねて縫ってください。 接着芯から1~1.5mm外側を縫うと綺麗に裏返しやすいです。</p>
	<p>縫ったところの縫い代をの幅が5mm程度になるように切ってください。</p> <p>こうすることで出来上がり線と縫い代線の弧の長さのさによるダブつきが少なくなり綺麗に仕上がりやすくなります</p>
	<p>表に返して端から2~5mmの所を縫ってください。</p>
	 <p>ベルトのパーツを内側が表になるように半分に折り縫ってください。 (表一枚・裏一枚の計2枚縫う)</p>
	<p>ベルトの表側につばを重ね5mmの所を縫ってください。</p>
	<p>つばの上に、裏を上にした、ベルトを重ね縫ってください。</p>

	<p>ベルトの裏地を内側におって、端から5mmの所を縫ってください。</p>
	 <p>ベルトを裏返し表にしたクラウンに重ねて縫って下さい</p> 
	 <p>ベルトとクラウンを一緒にほつれどめをしてください。 形を整えれば完成です。</p>

必要な材料

表地、裏地(裏地やサテン、薄手の綿生地等)、接着芯(薄い生地には薄地用、厚い生地には厚地用を使って下さい)、くるみボタン

帽子用ハード芯(お店で買う時は帽子のつばに入れるような芯をくださいというと教えてくれると思います)

おすすめの生地

ツイード 市販のキャスケットの定番のような生地です。ウールの中厚地位の生地です

薄手のニット ニットを使いとくったりとしたゆる〜い感じの優しいシルエットにしてもかわいいですね

帽子のつばは厚手の接着芯を使って下さいね!

サイトのサンプル写真は「クロバーの帽子用ハード芯 (厚)」を使用して作っています。

薄い芯だと帽子のつばがへろへろになっちゃいますよ〜。